

ジンポー語の2つの民話資料と文法注釈*

倉部慶太

日本学術振興会/東京外国語大学

キーワード：ジンポー語，カチン語，カチン人，民話，ビルマ（ミャンマー）

1 はじめに

本稿では、筆者が北部ビルマ（ミャンマー）に位置するカチン州ミッチーナ市において行った現地調査により収集した2つのジンポー語テキスト資料とそれらに対する文法注釈を提供する。以下、2節ではジンポー語の概況について、3節では本稿における表記法について記す。4節では「太陽を買った話」と題する民話資料の本文とその文法注釈を、5節では「ジンポー人が稲を手に入れた話」と題する民話資料の本文とその文法注釈をそれぞれ提示する。

2 ジンポー語

2.1 系統・地理・人口

ジンポー語 (Jinghpaw) は、シナ・チベット語族 (Sino-Tibetan) チベット・ビルマ語派 (Tibeto-Burman) に属する言語であり、北東インドのブラマプトラ溪谷上流から北部ビルマを通り中国雲南省西端部に跨がる地域に分布する。ジンポー人の人口は、ビルマに 630,000 人 (Bradley 1996)、中国に 37,000 人 (戴 2012)、インドに 5,000 から 6,000 人 (Morey 2010) が居住すると推定される。この人口に示されるとおり、ジンポー人の分布の中心は北部ビルマにあると言える。ジンポー語は、チャック語 (Cak/Sak)、カドゥー語 (Kadu)、ガナン語 (Ganan) などルイ語群 (Luish/Asakian) に属する言語と特別な親縁性を示すが (Matisoff 2013)、この言語群は東南アジア大陸部北西部に広く、しかし断続的に分布している。

2.2 北部ビルマの言語状況

ジンポー語が分布する北部ビルマは言語接触地域を形成しており、チベット・ビルマ諸語、漢語、タイ諸語、パラウン諸語などの話者が複雑に混ざり合う地域である。そのため、この地域において多言語使用は珍しくない。ジンポー語に関して特に重要な事実は、ジンポー語がカチン人 (Kachin) の用いる言語のひとつであるという事実である。カチン人は北部ビルマに居住するビルマ有数の民族であり、複数のチベット・ビルマ系言語を話す言語集団から成る。カチン人は言語的に多様であるが、婚姻連合など社会・文化的基盤を共有し、多かれ少なかれ、ひと

* 本稿を執筆するにあたり、オスロ大学/国立民族学博物館の鈴木博之氏から詳細なコメントをいただいた。ここに記して感謝申し上げます。なお、本稿に誤りがあれば、全て筆者の責に帰する。本研究は、JSPS 特別研究員奨励費 24-2938、26-2254 の助成を受けている。

つの社会・文化共同体を形成している。このカチンにおいてジンポー語は共通語として用いられており、カチンの人々を結びつけるひとつの紐帯の機能を果たしている。カチン文化圏における言語接触の総合的研究は未だ現れてはいないが、共通語としてのジンポー語が他のカチン諸語に与えた影響は決して少なくないと考えられる。

加えて、当該地域がタイ (シャン) 文化圏 (新谷編 1998) と部分的な重なりを持つ事実も無視できない。カチン地域において、本来、カチン人は焼畑を営む山地民であり、シャン人は水田稲作を営む低地人である。その生態学的対照性に関わらず、カチン人とシャン人は常に近い隣人であり、カチン人が時としてシャン人に「なる」という事実は当該地域の民族的流動性を反映している (Leach 1954)。タイ系民族のカチンへの影響は言語面にも反映されており、少なくとも 500 語を越えるタイ由来のジンポー語語彙はその証人である (Kurabe 2015)。

ビルマ語、漢語、アッサム語がジンポー語に与えた影響は、通時的には決して強かったわけではない。ただし、近年においては、ジンポー語はこれら近隣の大言語の強い影響下にある。ビルマ地域においてはビルマ語からの、中国地域においては漢語からの、インド地域においてはアッサム語からの影響が、各地域に分布するジンポー語方言にそれぞれ見受けられる。

なお、ジンポー人が現在のビルマのシャン州北部に移住したのは比較的最近ではあるが、Ethnologue によるとこの地域においてジンポー語はパラウン系の人々の間でもある程度の通用性を持つ (Lewis et al. 2014)。

2.3 ジンポー語の方言

ジンポー語には様々な方言的変種の存在が認められるが (Kurabe 2014)、本稿で対象とする方言はビルマのミッチーナ市、バモー市、クックアイ市などで通用する方言である。この方言はビルマのジンポー語における事実上の標準語とされており、他方言が分布する地域においても通用性を持つ。上述のとおり、ジンポー語は中国雲南省西端にも分布するが、雲南省のジンポー語とビルマの標準ジンポー語の方言差は大きくない。また、東北インドに分布するジンポー語方言は特にシンポー語 (Singpho) という名称で知られるが、シンポー語とジンポー語の方言差は大きく相互理解が容易ではない。

2.4 地域および類型的特点

本節ではジンポー語の概要を地域的・類型的観点から記述する。詳細に関しては戴 (2012)、Kurabe (2016, to appear) などを参照されたい。ジンポー語は、近隣言語同様、音節声調を持つ声調言語である。音節構造は C(C)V(C)/T と一般化が可能である。多くのモン・クメール諸語や複数のチベット・ビルマ諸語と同じく、ジンポー語は弱強格リズムを持つ二音節語を多く有する。三音節以上の単一形態素は極めて少なく、基礎語彙において、動詞は一音節語、名詞は二音節となる傾向が認められる。

形態論的には、複合、重複、接辞付加、ゼロ派生などの語形成規則が認められるが、このうち複合と重複の生産性が特に高い。複合には名詞と動詞が関与し、動詞と名詞から成る複合語においては主要部の位置に一貫性が認められないが、名詞のみから成る複合語の主要部は原則と

して右側主要部規則に従う。重複は、基本的に部分重複として実現され、最終音節が左から右へ複製される。重複により、習慣性、分配性、不定性、複数性などが示される。重複は副詞や譲歩の副詞節を形成する主要な手段のひとつでもある。

名詞と動詞が主要な品詞であり、名詞は名詞句の主要部になれるという基準により、動詞は否定辞を付加することができるという基準により定義する。名詞のうち、代名詞、数詞、類別詞、場所名詞、後置詞など閉じたクラスの名詞類は普通名詞と比較して取りうる連体修飾語に制約が認められる。東南アジア大陸部の多くの言語同様、形態統語的基準に基づく形容詞は動詞の下位類として位置づけられる。ジンポー語の副詞は、接辞付加、重複、動詞連続の副詞化などにより、動詞から共時的・通時的に派生されたものが大部分を占める。

ジンポー語は、大多数のチベット・ビルマ諸語がそうであるように、動詞後置型言語であり、述語動詞は常に節末に現れる。ジンポー語は、東南アジア大陸部の近隣言語同様、アスペクト卓立型言語であり、文法的時制は認められない。アスペクトは変化・非変化の二項対立を成す。変化相は事象の直近の変化を示すが、事象の限界性 (telicity) に基づき、始動・終了の両方を示しうる。ジンポー語は主格・対格型言語である。対格接語は DOM (differential object marking) として機能する。被動者の格標示には格の交替が認められ、原則として有生性階層において被動者が動作主に対して相対的に上位か同等の位置にある場合、被動者は義務的に対格で標示され、それ以外の環境では対格の生起は任意である。ジンポー語は、近隣言語同様、動詞連続を発達させた serializing language であり、動詞連続により事象間の継起性、同時性、目的性などが表される。また、動詞連続は補足節 (補文) を形成する主要な手段のひとつでもある。動詞連続の項構造は構成要素の項構造の組み合わせに基づくが、同じ意味役割を持つ項は、中核項であれ周辺項であれ、構成要素間で原則、共有されなければならない。動詞連続の構成要素には脱範疇化がしばしば認められ、V₁ は副詞へと、V₂ は助動詞へと脱範疇化する傾向にある。

3 本稿の表記

本稿の表記には以下に示した筆者の分析による音素表記を用いる。

頭子音					末子音					母音		
p	t	ts	c	k	ʔ	p	t	k	ʔ	i	u	
ph	th			kh						e	ə	o
b	d	dz	j	g						a		
		s	ɕ		(h)							
m	n			ŋ		m	n	ŋ				
ʔm	ʔn			ʔŋ								
w	l	r	y									
ʔw	ʔl	ʔr	ʔy									

ジンポー語は音節声調言語であり、声調として高平調 (H)、中平調 (M)、低下降調 (L)、高下

降調 (F) の 4 つが認められる。本稿では、それらをそれぞれ *má*、*ma*、*mà*、*mâ* と表記する。なお、促音節においては高と低の 2 つの声調のみが対立を成す。接辞付加が関与する以下の変調規則が認められ、一部の声調は基底形と表層形が相違する (以下の T は閉鎖音末子音を表す)¹。本稿の表記は音素表記に基づくため、表層形に近い表記を取る。

(A) Tone spreading

L → F / H __

(e.g. *ń-sà* → *ń-sâ* ‘not send’)

(B) Tone assimilation

a. H → M / __ M

(e.g. *ń-sa* → *n-sa* ‘not go’)

b. L → H / H __ T

(e.g. *ń-sàt* → *ń-sát* ‘not kill’)

4 民話 1 「太陽を買った話」

本節では「太陽を買った話」と題するジンポー語民話資料を提示する。本資料は、筆者が 2011 年 3 月にカチン州ミッチーナ市において、Du Kahtawng 地区の男性 (当時 70 代) から対面調査により得た一次資料である。調査では、まず、リニア PCM レコーダー (ZOOM H4n) にマイク (audio-technica AT9904) を接続して音声 (44.1kHz/16bit) を取り込んだ。対面調査後、筆者が正書法を用いて音声を文字に書き起こし、後日、コンサルタントの協力のもと、データの確認作業を行った。

4.1 「太陽を買った話」の本文

要約：昔、人間や動物たちは天の君主から太陽を買うためにそれぞれの身体部位を差し出すことになった。しかし、蝙蝠やムササビたちは太陽の購入に参加しなかった。そのために、今日、彼らは日中姿を現すことができない。

(1) *múnkan ńnán làt ʔay ɕəlóy múnkan nday gò jan wa ʔá-tsôm gərày*
 world newly be.born NMLZ when world this TOP sun TOP ADV-beautiful yet
ń-thôy ʔay dàʔ.

NEG-light DECL HS

世界が最初に誕生したとき、この世界は太陽がまだ十分には輝いていなかったそうだ。

¹ 変調規則 (A) と変調規則 (B) の b. は相補分布の関係にあるため、音韻論的に単一規則の異なる実現形と解釈することができる (藤原敬介氏のご教示による)。

(2) **yá? ná dərám jan í-thôy ?ay dà?.**

now GEN about sun NEG-light DECL HS
 今ほどには輝いていなかったそうだ。

(3) **pha məjò í-thôy ?ay ?i ɲú yàŋ “nánthe múŋkan òtsa kó? ɲà ?ay ɕiŋgyim-məɕà ni thè? dùsət ni jan məri rà ?ay” ɲú ?ay dà?.**

what because NEG-light DECL y/n.Q say when 2pl world above LOC exist NMLZ
 hominoid-human PL COM animal PL sun buy need DECL say DECL HS
 なぜ輝かないかという「お前たち地球上に住む人間と動物たちは太陽を買わなければならない。」と(天の君主たちが)言ったそうだ。

(4) **thó ləmù òtsa ná kho.khám ni tsun ?ay dà?.**

up.there sky above GEN king PL say DECL HS
 あちら(上)の天の君主たちが言ったそうだ。

(5) **ɕəlóy ?è “gày, ráy yàŋ jan məri gə? lô” ɲú òná ɕiŋgyim-məɕà ni thè? dùsət ni dzùp-phòŋ ?ay dà?.**

then SFP INTJ COP when sun buy HORT SFP say SEQ hominoid-human PL COM animal
 PL gather-assemble DECL HS
 その時、「さあ、それでは太陽を買いましょうよ」ということで人間と動物たちは集まったそうだ。

(6) **ɕəlóy gò “ɕiŋgyim-məɕà ni nánthe nó? məri m-ù?” ɲú ?ay ɕəlóy ɕiŋgyim-məɕà ni gò ɕánthe òmày phé? dò? òná jan məri káw ?ay dà?.**

PL TOP 3pl tail ACC cut SEQ sun buy away DECL HS
 その時、「人間たち、あなたたち買いなさい」と言った時、人間たちは彼らの尻尾を切つて(尻尾と交換に)太陽を買ったそうだ。

(7) **òmày phé? dò? ?ay dà?.**

tail ACC cut DECL HS
 尻尾を切ったそうだ。

(8) **ɕiŋgyim-məɕà ni ɕoŋ ɕò? ?ay dà?.**

hominoid-human PL first pull DECL HS
 人間が最初に差し出したそうだ。

(9) **day phaŋ ɲa-wəloy ni gò nday læthà? məgá ná wa məló? ya káw ?ay dà?.**

that after cattle-buffalo PL TOP this up side GEN tooth pull.off give away DECL HS
 その後、牛や水牛たちはこの上部の歯を(太陽を買うために)抜いて与えたそうだ。

- (10) **dùmsu ni ŋa-wəloy ni məló? ya káw ?ay dà?.**

cow PL cattle-buffalo PL pull.off give away DECL HS
牛や水牛たちは抜いて与えたそうだ。

- (11) **day phaŋ ?ù ni ráy jaŋ na wa dò? òná ya káw ?ay dà?.**

that after bird PL COP when ear TOP cut SEQ give away DECL HS
その後、鳥たちはというと(太陽を買うために)耳を切って与えたそうだ。

- (12) **?ù ni útâ-?ù ni ?ù nùm-ji ni má? khrà gò na wa dò? òná ya káw ?ay dà?.**

bird PL house-bird PL bird NMLZ-small PL be.exhausted until TOP ear TOP cut SEQ give away DECL HS
鳥たち、鶏たち、小鳥たちすべては耳を切って与えたそうだ。

- (13) **day phaŋ gù y ni ráy jaŋ ruŋ wa məló? òná ya káw ?ay dà?.**

that after dog PL COP when horn TOP pull.off SEQ give away DECL HS
その後、犬たちはというと(太陽を買うために)角を抜いて与えたそうだ。

- (14) **wà? ni mùŋ ruŋ ni məló? òná ya káw ?ay dà?.**

pig PL also horn PL pull.off SEQ give away DECL HS
豚たちも角を抜いて与えたそうだ。

- (15) **day cəloy gò yú ni kó? bá y sán ?ay dà?.**

that then TOP rat PL LOC again ask DECL HS
その時、鼠たちのところでもまた尋ねたそうだ。

- (16) **yú ni phé? ŋú jaŋ yú ni gò sɪŋko məló? káw ya ?ay dà?.**

rat PL ACC say when rat PL TOP wing pull.off away BEN DECL HS
鼠たちに言うと鼠たちは翼を抜いてくれたそうだ。

- (17) **yú ni gò**

rat PL TOP
鼠たちは。

- (18) **sɪŋko lè.**

wing SFP
翼だよ。

- (19) **sɪŋko məló? káw ya ?ay.**

wing pull.off away BEN DECL
翼を抜いてくれた。

- (20) **day phaŋ pətsíp phé? báy ɲú ?ay dà?**
 that after bat ACC again say DECL HS
 その後、蝙蝠にまた言ったそうだ。
- (21) **pətsíp phé? ɲú yàŋ gò “yá? ?ù ni məri ?ù?” ɲú jaŋ “?ê, ɲay gò ?ù
 bat ACC say when TOP now bird PL buy IMP say when SFP 1sg TOP bird
 ń-rê lô.**
 NEG-COP SFP
 蝙蝠に言うとき「今、鳥たち買いなさい」と言った時は「私は鳥ではないよ」。
- (22) **ɲay gò ?ù ń-rê.**
 1sg TOP bird NEG-COP
 「私は鳥ではない。」
- (23) **ɲay gò yú cè? rê.**
 1sg TOP rat indeed COP
 「私は実は鼠だ。」
- (24) **yú cè? rê.**
 rat indeed COP
 「実は鼠だ。」
- (25) **ɲay gò yú cè? rê.**
 1sg TOP rat indeed COP
 「私は実は鼠だ。」
- (26) **?ù ń-rê” ɲú ?ay dà?**
 bird NEG-COP say DECL HS
 「鳥ではない」と言ったそうだ。
- (27) **“yá? yú ni báy jaŋ məri m-ù?” ɲú jaŋ “ɲay gò ?ù cè? rê.**
 now rat PL again sun buy pl-IMP say when 1sg TOP bird indeed COP
 「今、鼠たちまた太陽を買いなさい」と言った時、「私は実は鳥だ。」
- (28) **?ù cè? rê” ɲú ?ay dà?**
 bird indeed COP say DECL HS
 「実は鳥だ」と言ったそうだ。
- (29) **day məjò pətsíp gò jaŋ məri ń-lóm ?ay dà?**
 that because bat TOP sun buy NEG-accompany DECL HS
 だから、蝙蝠は太陽を買うのに参加しなかったそうだ。

- (30) **day məjò yá? ɕəní ń-ŋâ lù ?ay, pətsíp gò.**
that because now day NEG-exist get DECL bat TOP
だから、今日、日中に姿を現すことができない、蝙蝠は。
- (31) **ɕi gò dáy-ní ɕiŋko mùŋ tu ?ay.**
3sg TOP this-day wing also grow DECL
彼は今日、翼も生えている。
- (32) **na mùŋ tu ?ay.**
ear also grow DECL
耳も生えている。
- (33) **ɨmày mùŋ tu ?ay.**
tail also grow DECL
尻尾も生えている。
- (34) **pətsíp gò.**
bat TOP
蝙蝠は。
- (35) **ráy tím ɕəní ń-ŋâ lù ?ay.**
COP but day NEG-exist get DECL
しかし、日中は姿を現すことができない。
- (36) **jan məri ń-lóm ?ay məjò.**
sun buy NEG-accompany NMLZ because
太陽を買うのに参加しなかったためである。
- (37) **yù-byì má dáy thè? mərən rê dà?.**
rat-flying.squirrel also that COM same COP HS
ムササビもそれと同様だそうだ。
- (38) **yú ni məri na ńú yàŋ “ŋay ?ù ɕè? rê lô” ŋa ?ay.**
rat PL buy IRR say when 1sg bird indeed COP SFP say DECL
鼠たちが買うと言った時、「私は実は鳥だよ」と言った。
- (39) **?ù ni məri na ńú yàŋ “ŋay yú ɕè? rê” ŋa ?ay.**
bird PL buy IRR say when 1sg rat indeed COP say DECL
鳥たちが買うと言った時、「私は実は鼠だ」と言った。

(40) **ráy ñmá yù-byì mùŋ jan ñ-məri ʔay dàʔ.**

COP SEQ rat-flying.squirrel also sun NEG-buy DECL HS
 そうしてムササビも太陽を買わなかった。

(41) **rê məjò yù-byì ni pətsíp ni cəní ñ-ŋâ lù ʔay dàʔ.**

COP because rat-flying.squirrel PL bat PL day NEG-exist get DECL HS
 だから、ムササビや蝙蝠たちは日中、姿を現すことができないそうだ。

(42) **jan thèʔ ñ-ŋâ lù ʔay.**

sun COM NEG-exist get DECL
 太陽と共にいることはできない。

(43) **cəní ráy jaŋ wó kətà dèʔ lægyím to, cənáʔ-ńsín cèʔ pyen khom lù day COP when over.there inside ALL hide CONT night-darkness only fly walk get ʔay dàʔ.**

DECL HS
 日中はあの奥の方に隠れていて、夜の暗がりでのみ飛び回ることができるそうだ。

(44) **day rê məjò jìŋphòʔ ni kháy ʔay màwmùy thàʔ ʔè pha ráy tím mənù jòʔ that COP because Jinghpaw PL tell NMLZ folktale LOC SFP what COP but cost give rà ʔay.**

need DECL
 だから、ジンポー人たちが語る民話では何であっても対価を支払わなければならない。

(45) **mənù ñ-jóʔ ʔay wa gò ñ-khâmçá lù ʔay ɲú ʔay màwmùy day khu tsun cost NEG-give NMLZ man TOP NEG-receive get DECL say NMLZ folktale that like say dá màʔ ʔay ráy.**

RES 3pl NMLZ COP
 対価を支払わない者はそれを享受することができないという民話をそのように語っているのだ。

4.2 民話1の文法注釈

本節では、4.1節で提示した民話資料本文に例示される文法項目のうち、特に注意を要するものに対する文法注釈を記す。以下の注釈番号は4.1節の例文番号と対応する。

1. 名詞 *múnkan* 「世界」の前部要素は単独で「国」という意味を表し、シャン語 *mɯŋ*⁴ 「国」に由来する。この語は他のカチン諸語にも広く借用されており、当該地域の地域語彙のひとつであるといえる (e.g. *Zaiwa meng*¹¹、*Lhaovo muŋ*^H、*Lacid moug*、*Leqi məŋ*³³、*Rawang mǒng*)。

ジンポー語の指示詞 *nday* 「これ、この」は意味の変化を伴わず、意味的主要部の前後どちら

にも生起しうる。

動詞 *tsòm* 「美しい」は副詞化接頭辞により副詞化されると「よく、十分に」という意味を表す。本例文では程度副詞 *?ó-tsóm* 「よく」と相副詞 *gərày* 「未だに」が共起しているが、このように副詞が単一節中に2つ以上現れた場合、アスペクト的意味を表す副詞は常に動詞に近い位置に生起する。

ジンポー語の叙述文を形成する法標識 *?ay* は名詞化標識 *?ay* と同形であり、これらの形式は共時的または通時的な関連性を持つと考えられる。ただし、これらの間には以下に示すような相違も観察されるため、本稿では異なるグロスを与える。(a) 名詞化標識 *?ay* により形成される節の A (他動詞節の動作主) または S (自動詞節の唯一項) は属格によって標示されうるが、法標識 *?ay* により形成される文はこの特徴を持たない。(b) 名詞化標識 *?ay* により形成される節には主題標識 *gò* が生起しえないが、法標識 *?ay* により形成される文には生起しうる。

3. 名詞 *dùsət* 「動物」はシャン語 *to¹s^hat⁴* 「動物」に由来する。

ジンポー語は、近隣言語同様、疑問文が真偽疑問文であるか疑問語疑問文であるかに従い、異なる疑問文末詞を用いる。基本的に、真偽疑問文は文末詞 *?i* によって形成され、一方、疑問語疑問文は文末詞 *ráy* や *tá* によって形成される。このように、原則として疑問語は疑問語疑問文の文末詞を誘発するが、引用節中ではこの現象がキャンセルされる。例 (3) はまさにその例である。

ジンポー語の名詞節はこの例に観察されるとおり、関係節としても機能し、関係節化は名詞化の一機能であると見なすことができる。なお、ジンポー語では、関係節に加え、補足節 (補文) や副詞節の一部も名詞化により形成される。この種の名詞化と従属節化の密接な関係はチベット・ビルマ諸語に広く観察される特徴である (Matisoff 1972)。

4. 名詞 *kho.khám* 「王」はシャン語 *ho¹k^ham⁴* 「王宮」に由来するが、ジンポー語において換喩的意味変化が起きている。

ジンポー語の遠称指示詞は直示中心からの相対的高さにより三分割され、直示的中心より高い位置を指す *thó*、直示的中心と同位置を指す *wó*、直示的中心より低い位置を指す *lé* の三項対立を成す。

5. ジンポー語の引用節の内容は必ずしも実際に発せられた発話でなくともよく、実際には発せられなかった意図を表すことも可能である。例 (5) に観察される引用節は、実際に発せられた発話とも実際は発せられなかった発話とも解釈できる。

並列複合動詞 *dzùp-phoj* 「集まる」は2つの類義動詞から成る。ジンポー語の並列複合語の構成要素の順序は、以下の2つの規則に従って決定されるが (倉部 2011)、例 (5) における並列複合動詞の順序は規則 (1) が関与している。

(i) Higher first rule

構成要素間の音節数が同じ場合、相対的に高い母音を持つ要素が先行する

(ii) Shorter first rule

構成要素間の音節数が異なる場合、相対的に短い音節数を持つ要素が先行する

なお、例 (9) に観察される並列複合名詞 *ŋa-wəloy* 「牛や水牛」は2つの類義名詞から成るが、その構成要素の順序は上記の規則 (2) が関与的である。

12. 動詞 *máʔ* 「尽きる」と接続助詞 *khra* 「まで」は全体で「全て」という意味の量化子として機能する。

18. 文末詞 *lè* はビルマ語の確かさを表す文末詞 *lè* に由来する。ビルマに分布する現代ジンポー語はビルマ語の強い影響下にあり、文末詞や間投詞にビルマ語からの借用形式が散見される。

29. この例において、動詞 *məri* 「買う」と動詞 *lóm* 「同行する」は補文関係の動詞連続を形成している。動詞連続が補文形成の一方略として用いられる現象は東南アジア大陸部において珍しくない。

30. 動詞 *lù* 「得る」は主動詞とともに用いられると状況可能を表す助動詞のように機能する。ただし、助動詞的機能を担う場合においてもこの動詞に直接、否定辞を付加することが可能である。この事実は、自動詞的に用いられる場合であってもこの動詞が未だ動詞性を保っていることを示唆する。なお、動詞「得る」が可能を表す形式へと文法化する現象は東南アジア大陸部諸語に系統を越えて広く観察される (Enfield 2004)。

44. 譲歩の接続助詞 *tím* は接続助詞 *tíʔ* 「しかし」と副助詞 *mùŋ* 「も」の融合により成立した形式である。

45. 動詞 *khàmçá* 「受ける」はビルマ語 *khànzá* 「受ける、味わう」に由来する。

3人称複数を表す標識 *màʔ* は義務的ではない。この形式は通時的に *m-àʔ* (pl-3rd) と分析可能である。ただし、動詞の一致を持たない周辺言語との言語接触により、現代ジンポー語では本来有していた動詞の一致がほぼ消失している。複数標識 *màʔ* も本来は分析可能な動詞語尾であったが、現代語においては3人称を示す人称接辞 *-àʔ* はこの語にしか保存されていないため、*màʔ* は現代語においては分析不可能な形式と母語話者に認識されている。

5 民話2「ジンポー人が稲を手に入れた話」

本節では「ジンポー人が稲を手に入れた話」と題する民話資料を提示する。本資料が依拠するデータは4節の最初に記したものと同様である。

5.1 「ジンポー人が稲を手に入れた話」の本文

要約：昔、稲には籾殻が付いていなかった。しかし、人間や動物があまりにも稲を食べたがために稲は天界へと逃げ帰った。天の精霊は稲に籾殻を付け、地上に戻るよう諭した。本来、稲は稲軸が太く稲穂も豊かであったが、地上へ戻る道中、カメレオンの呪いによって稲は細く痩せこけたものになってしまった。

- (1) **jìngphò? ni mam phé? lù lá ?ay lam gòn dá ?ay lam ló?-ló? ɲà**
 Jinghpaw PL rice.plant ACC get take NMLZ way narrate RES NMLZ way many-RED exist
?ay ráy tí? mùŋ ɣədùn ?ay khu òná nà ?ay lam phé? tsun gà? ɲa yàŋ
 NMLZ COP but also short NMLZ like ABL hear NMLZ way ACC say HORT say when
jìngphò?-?əmyú ni gò mòy-ɕoŋ dè? jan-ɕəta-gá ná mam phé? lù lá
 Jinghpaw-race PL TOP long.ago-before ALL sun-moon-land GEN rice.plant ACC get take
mà? ?ay dà?.

3pl DECL HS

ジンポー一人が稲を手に入れたことを語った話はたくさんあるけれども、短く聞いた話をひとつ言いましょうと言うならば、ジンポー一人は最初、天界の稲を手に入れたそう。

- (2) **ráy tím nday mam ɲa tím ɕoŋ lù lá ?ay gò kòp í-lóm ?ay**
 COP but this rice.plant say but before get take NMLZ TOP rind NEG-accompany DECL
dà?.

HS

しかし、これは稲といっても最初に手に入れたものは籾殻がついていなかったそう。

- (3) **ngu, ngu phé? lù lá ?ay dà?.**

husked.rice husked.rice ACC get take DECL HS

白米、白米を得たそう。

- (4) **lù lá òná ɕìngyim-məɕà ni wa day ngu phé? ɕá ?ay.**

get take SEQ hominoid-human PL TOP that husked.rice ACC eat DECL

手に入れて人間たちはその白米を食べた。

- (5) **kháy yàŋ mùŋ day ngu phé? kháy ?ay.**

plant when also that husked.rice ACC plant DECL

植える時もその白米を植えた。

- (6) **ngu tu ?ay.**

husked.rice grow DECL

白米が生えた。

- (7) **ngu pru ?ay.**

husked.rice come.out DECL

白米が出てきた。

- (8) **ngu tu pru ?ay dà?.**

husked.rice grow come.out DECL HS

(植えたならば) 白米が (そのまま) 生え出てきたそう。

- (9) **ráy tí? mùŋ day ngu wa phyen grày ló? ?ay dà?.**
 COP but also that husked.rice TOP enemy very many DECL HS
 しかし、その白米は敵が大変多かったそうだ。
- (10) **khà? gəbà wà ?ay ɕəlóy ɲá ni mùŋ ɕá ?ay dà?.**
 water big VEN NMLZ when fish PL also eat DECL HS
 川が溢れると魚も食べたそうだ。
- (11) **?ù ni mùŋ ɕá ?ay dà?.**
 bird PL also eat DECL HS
 鳥も食べたそうだ。
- (12) **yú ni mùŋ ɕá ?ay.**
 rat PL also eat DECL
 鼠も食べた。
- (13) **dùsàt-dù.myéŋ ni mùŋ ɕá ?ay.**
 animal-COUP PL also eat DECL
 動物も食べた。
- (14) **ngu day phé? nàw dzìŋrì ?ay məjò lə-ní mi ná ?ətèn thà?**
 husked.rice that ACC too.much trouble NMLZ because one-day one GEN time LOC
ngu day wa jan-ɕəta-gá dè? phroŋ màt ?ay dà?.
 husked.rice that TOP sun-moon-land ACC flee COMPL DECL HS
 その白米をあまりにもいじめたために、ある日その白米は天へ逃げてしまったそうだ。
- (15) **phroŋ màt òná òtâ-mədù? ni wà yu ?ay ɕəlóy ngu ò-ŋâ**
 flee COMPL SEQ house-master PL return see NMLZ when husked.rice NEG-exist
s-ay dà?.
 CSM-DECL HS
 逃げてしまって主人たちが帰って見たとき白米はもういなくなっていたそうだ。
- (16) **ngu ò-ŋâ ?ay məjò day məɕà ni gəthòŋ-məɕà ni grày maw ɲà**
 husked.rice NEG-exist NMLZ because that person PL village-person PL very wonder CONT
mà? ?ay dà?.
 3pl DECL HS
 白米がいなかったなのでその人たち、村人たちは大変驚いたそうだ。
- (17) **day ɕəlóy ?è gùy-là ləŋây mi gò “ŋay mù s-ay.**
 that when SFP dog-male one one TOP 1sg see CSM-DECL
 その時、一匹の雄犬が「私は見つけました」

- (18) **ngu gə́nánǎ̀ dèʔ yon wà ʔay ɲay mù s-ay” ɲú ʔay dàʔ.**
 husked.rice where ALL face VEN NMLZ 1sg see CSM-DECL say DECL HS
 「白米がどこへ向かったか私は見つけました」と言ったそうだ。
- (19) **ɕəlóy gò “day ráy yàŋ naŋ ɲú ʔay ɕərə̀ dèʔ ʔánthe phéʔ woy sa myìʔ” ɲú**
 then TOP that COP when 2sg say NMLZ place ALL 1pl ACC lead go 1pl.IMP say
ʔay ɕəlóy ʔè gù-y-là day gò thó jan-ɕəta-gá dèʔ woy sa ʔay dàʔ.
 NMLZ when SFP dog-male that TOP up.there sun-moon-land ACC lead go DECL HS
 その時、「それならば、あなたが言う場所へ私たちを連れて行ってください」と言った時、
 その雄犬はあの天の地へ連れて行ったそうだ。
- (20) **woy sa òná day jan-ɕəta-rúŋ dèʔ dù ʔay ɕəlóy day**
 lead go SEQ that sun-moon-office ALL arrive NMLZ when that
jan-ɕəta-ləmù-məday-nát ni kóʔ “ʔè, nánthe jòʔ ʔay ngu wa báy
 sun-moon-sky-celestial.spirit-spirit PL LOC INTJ 2pl give NMLZ husked.rice TOP again
wà s-ay.
 return CSM-DECL
 連れて行ってその天の役所に到着した時、その天の精霊たちのところで(人間たちは)「あ
 なたたちがくれた白米がまた帰ってしまった」
- (21) **nánthe kóʔ báy wà s-ay lô” ɲú òná tsun ʔay dàʔ.**
 2pl LOC again return CSM-DECL SFP say SEQ say DECL HS
 「あなたたちのところへまた帰りましたよ」と言ったそうだ。
- (22) **ɕəlóy ngu day gò “ʔè, ɲay múŋkan-gá dèʔ ń-ŋâ lù s-ay.**
 then husked.rice that TOP INTJ 1sg world-land ALL NEG-exist get CSM-DECL
 その時、その白米は「私は地上ではもう暮らせません。」
- (23) **ɲay phéʔ məkòp-məga ʔay ń-ŋâ ʔay.**
 1sg ACC cover-shield NMLZ NEG-exist DECL
 「私を守ってくれるものはいません。」
- (24) **yòŋ-yòŋ ɲay phéʔ jóm ɕá ʔay məjò ɲay ń-ŋâ gúy ʔay.**
 all-RED 1sg ACC join.force eat NMLZ because 1sg NEG-exist dare DECL
 「みんなよってたかって私を食べるので私は(地上に)暮らす勇気がありません。」
- (25) **khrit ʔay” ɲú tsun ʔay dàʔ.**
 fear DECL QUOT say DECL HS
 「怖いです」と言ったそうだ。

- (26) **day ɕəlóy gò jan-ɕəta-nàt-məgam ni gò “ʔê, day ráy yàŋ gò naŋ phé?**
 that then TOP sun-moon-spirit-authority PL TOP INTJ that COP when TOP 2sg ACC
məkòp-məga na mətʉ məkòp dàt ya na” ɲú ìná ngu kó? phyí?
 cover-shield IRR.NMLZ for cover away BEN IRR say SEQ husked.rice LOC skin
ɕə-lóm ya ʔay dà?

CAUS-accompany BEN DECL HS

その時、天の精霊たちは「はい、それならばあなたを守るために覆ってあげましょう」と言ってお米に籾殻を付けてやったそう。

- (27) **ráy tí? mùŋ “ʔê, phyí? ɕà ɕə-lóm ʔay ɲay í-gúy ʔay.**
 COP but also INTJ skin only CAUS-accompany NMLZ 1sg NEG-dare DECL
 しかし、「籾殻を付けただけでは私は勇気がありません。」

- (28) **í-wâ gúy s-ay” ɲú ʔay dà?**
 NEG-return dare CSM-DECL say DECL HS
 「もう帰りたいありません」と言ったそう。

- (29) **“ʔê, day ráy yàŋ gò ná? mənò-mənaŋ ni mùŋ grày jò? dàt na”**
 INTJ that COP when TOP 2sg.GEN COUP-friend PL also very give away IRR
ɲú ʔay dà?
 say DECL HS
 「はい、それならば、あなたの友達もたくさんあげましょう」と(天の精霊は)言ったそう。

- (30) **kháynu jò? dàt ʔay dà?**
 maize give away DECL HS
 トウモロコシを与えたそう。

- (31) **ɕəgyi jò? dàt ʔay dà?**
 millet give away DECL HS
 キビを与えたそう。

- (32) **ɕəpre jò? dàt ʔay dà?**
 bean give away DECL HS
 豆を与えたそう。

- (33) **nàm-pàn ni jò? dàt ʔay dà?**
 forest-flower PL give away DECL HS
 花を与えたそう。

- (34) **kumgyin ni kəkhûm ni ?này ni ràw ɛ̀à di ìná báy jò? dət ?ay dà?**
 cucumber PL pumpkin PL yam PL together only do SEQ again give away DECL HS
 胡瓜や南瓜、芋を一緒にしてまた与えたそうだ。
- (35) **jò? dət ìná múŋkan-gá dè? báy wà s-ay dà?**
 give away SEQ world-land ACC again return CSM-DECL HS
 与えて地上へまた帰ったそうだ。
- (36) **mam nday.**
 rice.plant this
 この稲は。
- (37) **báy wà ?ay ɛ̀lólóy gò jan dù wà ?ay məjò lam læpran kó?**
 again return NMLZ when TOP sun arrive VEN NMLZ because road between LOC
?yúp ?ay dà?
 sleep DECL HS
 また帰る時、日が暮れたので道の途中で寝たそうだ。
- (38) **lam læpran kó? ?è mam gun wà ?ay ni day gù-y-là thè? ɛ̀nggyim-mə̀ɛ̀à**
 road between LOC SFP rice.plant carry VEN NMLZ PL that dog-male COM hominoid-human
ni báy wà ?ay ɛ̀lólóy day ɛ̀ná? ɛ̀ngnyên læŋây mi sa wà ?ay dà?
 PL again return NMLZ when that night chameleon one one go VEN DECL HS
 道の途中で、稲を担いで来た者たち、その雄犬と人間たちがまた帰る時に、その夜、一匹のカメレオンが来たそうだ。
- (39) **“?è, nánthe ɛ̀nggyim-mə̀ɛ̀à ni mam lá wà ?ay ŋa ?ay gò gərə khu rê**
 INTJ 2pl hominoid-human PL rice.plant take VEN DECL say NMLZ TOP which like COP
mam wa rê tâ” ɲú ìná sán ?ay dà?
 rice.plant TOP COP wh.Q say SEQ ask DECL HS
 「やあ、あなたたち人間たちが稲を持って来たというのはどのような稲ですか」と言って聞いたそうだ。
- (40) **ɛ̀lólóy ɛ̀nggyim-mə̀ɛ̀à ni tsun ?ay.**
 then hominoid-human PL say DECL
 その時、人間たちは言った。
- (41) **“mam ñ-phún gò ŋa-wəloy-ləkoŋ rá-m-rám gə̀bà, mam**
 rice.plant paddy-stalk TOP cattle-buffalo-upper.part.of.ear about-RED big rice.plant
ñ-sí gò gùmrà-ñmày dərám wum ?ay dà? lô” ɲú ?ay dà?
 paddy-fruit TOP horse-tail about rich DECL HS SFP say DECL HS
 「稲軸は牛や水牛の耳上部のように太く、稲穂は馬の尻尾くらい豊かだつてよ」と言った

そうだ。

(42) **ɬəlɔy ɕiŋnyɛn pha tsun ʔay ʔi.**

then chameleon what say DECL y/n.Q

その時、カメレオンは何と言ったか。

(43) **“ʔê nánthe mam ú-phún ɲú ʔay gò nday nyé? ʔà? məruŋ dzòn
INTJ 2pl rice.plant paddy-stalk say NMLZ TOP this 1sg.GEN GEN spine like
grèn-grèn ráy ʔùgà?” ɲú ʔay dà?.**

be.raw.boned-RED COP OPT say DECL HS

「あなたたちが稲軸というのはこの私の背骨のように痩せこけますように」と言ったそう
うだ。

(44) **“mam ú-sí ɲú ʔay mùŋ nday nyé? ʔà? ìmày dzòn rê kəci ɕà ráy
rice.plant paddy-fruit say NMLZ also this 1sg.GEN GEN tail like COP few only COP
ʔùgà?” ɲú ìná tsun káw ya ʔay dà?.**

OPT say SEQ say away BEN DECL HS

「稲穂というのもこの私の尻尾のように少なくなりますように」と言ったそう
だ。

(45) **day məjò mam ú-phún mùŋ gəji màt ʔay dà?.**

that because rice.plant paddy-stalk also small COMPL DECL HS

そのために、稲軸も小さくなってしまったそう
だ。

(46) **mam ú-sí mùŋ gəji-gəlù ráy màt ʔay rê dà?.**

rice.plant paddy-fruit also small-long COP COMPL NMLZ COP HS

稲穂も細長くなってしまったのだそう
だ。

(47) **day məjò dáy-ní nát-jò?-pràt ná jìŋphò? ni gò day ɕiŋnyɛn phé? mù
that because this-day spirit-give-period GEN Jinghpaw PL TOP that chameleon ACC see
jaŋ mù ʔay ɕərə kó? sàt káw mà? ʔay.**

when see NMLZ place LOC kill away 3pl DECL

そのために、今日、精霊信仰をするジンポー人たちはそのカメレオンを見たら、見た場
所で殺してしまう。

(48) **nday gò mam thè? seŋ ʔay màwmùŋ gədùn ráy s-ay.**

this TOP rice.plant COM be.related NMLZ folktale short COP CSM-DECL

これが稲に関する短い民話である。

5.2 民話2の文法注釈

本節では、5.1節で提示した民話資料本文に例示される文法項目のうち、特に注意を要するもの
に対する文法注釈を記す。4.2節同様、以下の注釈番号は5.1節の例文番号と対応する。

1. 名詞 lam は本来的に「道」を意味する語であるが、補文を導入する補文標識としての機能も果たす。

3. ジンポー語では近隣言語同様、「米」と関連する語彙が細分化されている。名詞 ngu は脱穀された米(玄米、白米)を指し、脱穀されていない米(粃米)を指す名詞 mam と対立を成す (Suzuki, Kurabe, Iwasa, Shirai, Ebihara and Matsuse to appear)。これらの語は別語根である点に注目されたい。なお、名詞 mam は「稲」の意味も表す。

14. 名詞 lə-ní (one-day) 「1日」の lə- は数詞 ləŋây 「1」の弱化形に由来する。ジンポー語は、一般的な数詞 ləŋây 「1」に加え、より限られた環境で現れる数詞 mi 「1」を持つ。特に類別詞の後では一般的な数詞 ləŋây 「1」は生起せず、必ず数詞 mi 「1」が現れる。また、数詞 mi 「1」は数詞 ləŋây 「1」に後続し不定の意味を表す際にも用いられる。

23. ジンポー語の関係節は、4.2 節の注 3 に記したとおり、名詞化標識 ?ay により形成され、関係節形成は名詞化の一機能であると考えられる。本例において、名詞化標識 ?ay は無主部関係節 (headless relative clause) を形成する役割を果たしている。

24. 動詞 jóm 「協力する」は動詞連続の V₁ として用いられると「一緒に」という意味を表し、副詞的機能を果たす。ただし、副詞的に用いられる場合であっても、この動詞には否定辞を直接、付加することができる。この事実はこの動詞が未だ動詞性を保っていることを示している。

25. 引用標識 ŋú は動詞 ŋú 「と言う」に由来する。動詞 ŋú は引用標識として用いられる場合、否定辞を付加することができない。(25) に例示される ŋú は否定辞を付加することができないため、動詞ではなく引用標識へと移行しているものと考えられる。なお、動詞「言う」の引用標識への文法化は通言語的に観察される現象である (Matisoff 1991:398–99, Lord 1993:151–213, Heine and Kuteva 2002:261–65)。

29. 二人称代名詞属格形 ná? は通時的に二人称代名詞 naŋ と属格 ?à? の融合に由来する。

41. 名詞 mam ú-phún 「稲軸」および mam ú-sí 「稲穂」における形態素 ú- は通時的には名詞 mam 「稲」の弱化形に由来する (Dai and Wu 1995:101)。この種の所有物に付加される所有者形態素は一種の主要部標示 (head-marking) の例と見なすことができる。類例として以下の例がある。

(49) naŋ ‘you’ or ná? ‘your’ > ú- ‘your’

ná? ú-nû

2sg.GEN 2GEN-mother

「あなたの母」

42. 4.2 節の注 3 に記したとおり、疑問語は本来、疑問語疑問文を形成する文末詞を誘発するが、引用節中ではこの現象がキャンセルされる。本例では真偽疑問文を形成する文末詞 ?i が用いられている。この事実、本例は表面上は引用節ではないけれども、ŋú 「と言うと」のような形式が本例の後で省略されていることを示唆する。

記号

. syllable boundary - morpheme boundary

略号

1	first person	HORT	hortative
2	second person	HS	hearsay
3	third person	IMP	imperative
pl	plural	INTJ	interjection
sg	singular	IRR	irrealis
wh	wh-question	LOC	locative
ABL	ablative	NEG	negative
ACC	accusative	NMLZ	nominalizer
ADV	adverbializer	OPT	optative
ALL	allative	PL	plural
BEN	benefactive	Q	question
CAUS	causative	QUOT	quotative complementizer
COM	comitative	RED	reduplicant
COMPL	completive	RES	resultative
CONT	continuous	SEQ	sequential
COP	copula	SFP	sentence-final particle
COUP	couplet	TOP	topic
CSM	change-of-state marker	VEN	venitive
DECL	declarative	y/n	yes/no
GEN	genitive		

参考文献

- Bradley, David. (1996) Kachin. In Stephen A. Wurm, Peter Mühlhäusler and Darrell T. Tryon, eds., *Atlas of Languages of Intercultural Communication in the Pacific, Asia, and the Americas* vol. 2.1. 749–51. Berlin: Mouton de Gruyter.
- 戴慶廈. (2012) 『景頗語參考語法』 北京: 中国社会科学出版社.
- Dai, Qingxia and Hede Wu. (1995) Jinghpo prefixes : Their classification, origins, for general morphology. *Senri Ethnological Studies* 41: 93–131.

- Enfield, Nicholas J. (2004) Areal grammaticalization of postverbal ‘acquire’ in mainland Southeast Asia. In Somsong Burusphat, ed., *Papers from the Eleventh Annual Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society*, 275–96. Tempe: Arizona State University.
- Heine, Bernd and Tania Kuteva. (2002) *World Lexicon of Grammaticalization*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 倉部慶太. (2011) 「ジンポー語における対句表現」『地球研言語記述論集 3』 37–57.
- Kurabe, Keita. (2014) The reflexes of the Proto-Jingpho glides in modern dialects. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 37.2: 181–97.
- Kurabe, Keita. (2015) The phonological adaptation of Shan loanwords in Jingpho. Paper presented at the 48th International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics, University of California, Santa Barbara, California, USA.
- Kurabe, Keita. (2016) A grammar of Jinghpaw, from northern Burma. Ph.D. dissertation, Kyoto University. pp.668.
- Kurabe, Keita. (to appear) Jinghpaw. In Graham Thurgood and Randy J. LaPolla, eds., *The Sino-Tibetan Languages*. Second edition. London: Routledge.
- Leach, Edmund R. (1954) *Political Systems of Highland Burma: A Study of Kachin Social Structure*. London: G. Bell and Sons.
- Lewis, M. Paul, Gary F. Simons and Charles D. Fennig eds. (2014) *Ethnologue: Languages of the World*. Seventeenth edition. Dallas, Texas: SIL International.
- Lord, Carol. (1993) *Historical Change in Serial Verb Constructions*. Amsterdam: John Benjamins.
- Matisoff, James A. (1972) Lahu nominalization, relativization, and genitivization. In John Kimball, ed., *Syntax and Semantics* I. 237–57. New York: Seminar Press.
- Matisoff, James A. (1991) Areal and universal dimensions of grammatization in Lahu. In Elizabeth C. Traugott and Bernd Heine eds., *Approaches to Grammaticalization*, vol. 2. 383–453. Amsterdam: Benjamins.
- Matisoff, James A. (2013) Re-examining the genetic position of Jingpho: Putting flesh on the bones of the Jingpho/Luish relationship. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 36.2: 15–95.
- Morey, Stephen. (2010) *Turung: A Variety of Singpho Language Spoken in Assam*. Canberra: Pacific Linguistics.
- 新谷忠彦 (編). (1998) 『黄金の四角地帯 — シャン文化圏の歴史・言語・民族』 東京: 慶友社.
- Suzuki, Hiroyuki, Keita Kurabe, Kazue Iwasa, Satoko Shirai, Shiho Ebihara and Ikuko Matsuse. (to appear) A geolinguistic analysis of the ‘rice’ category in Tibeto-Burman. *Studies in Asian Geolinguistics* 2.